

「房総の昆虫」投稿規定

円滑な会誌編集作業のために、会員の皆様のご協力をお願い致します。

【本文】

1. Word形式を原則とします。書式の設定は不要です。
2. 本文中の英数字は全て半角として下さい。読点「、」と句点「。」は全角として下さい。
3. タイトルは短く、レイアウトに支障をきたしますので、簡潔な表現を心がけて下さい。本文は冗長にならないようにして下さい。
4. 表記ゆれや重複、矛盾にご注意下さい。誤脱字、特に学名、人名、地名、文献名の確認は入念に願います。
5. 同地域での普通種の記録や同種の短報が複数あるときは、1本にまとめて下さい。内容を鑑みて、編集段階でまとめさせていただく場合があります。

【データ】

1. 様式に決まりは設けませんが、正確を期して下さい
2. 和名だけでなく学名も記して下さい。命名者を記す場合は頭文字のみを大文字として下さい（例参照）。
例：モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora* Boisduval, 1836
3. 場所は通称だけでなく、原則として正確な地名（学名等）を表記して下さい。
4. 個体数、場所、年月日のほか、採集(目撃・撮影)者、標本の保管者は必ず明記して下さい。
5. 読点「、」と句点「。」、英数字は半角として下さい。

【図表】

1. 図・写真はJPEG形式、表はExcelまたはPEG形式のファイルをご用意下さい。本文ファイル内に埋め込まず、単独のファイルとして下さい。
2. デジタルデータでの投稿が困難な場合は、紙焼き写真も受け付けます。
3. デジタルデータは300dpi以上の画質が望まれます。画質が不足している場合、掲載できないことがあります。
4. 標本写真は、ラベルを外した状態で撮影して下さい。

【引用文献】

1. 参考文献ではなく、実際に本文内で引用した文献のみを記して下さい。投稿にあたって、読んで示唆を受けたものは参考文献です。前後関係や考察を論じる際に、その根拠となる事実や情報がどこにあるかを示したものが引用文献です。
2. 引用文献リストの配列は、第一著者の頭文字のアルファベット順とします。同一著者で複数の引用文献がある場合は、発行年が古い順に配列して下さい。
3. 執筆者、発行年、タイトル、(編著者名)、書名、巻(号)、掲載ページの順に記述し、単行本の場合は出版社と所在地を記して下さい。句読点や括弧などの記号、英数字は半角として下さい（例参照）。

引用文献の表記例

- a. 雑誌に掲載された1つの報文を引用する場合

西泰弘・城田義友(2020)2018・2019年度県内採集会(市原市大福山)報告. 房総の昆虫(66):1-12.

- b. 単行本の全体を引用する場合
佐々治寛之(1998)テントウムシの自然史. 251pp. 東京大学出版会, 東京.
 - c. 分担執筆された単行本の一部を引用する場合
山崎秀雄(1999)千葉県のカブト目. 千葉県生物学会(編), 千葉県動物誌:634-718. 文一総合出版, 東京.
 - d. 県や市町村が発行する報告書・資料の場合
千葉県環境生活部自然保護課(2019)千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版. 40pp.
 - e. インターネット上の資料を引用する場合
環境省自然環境局野生生物課. 特定外来生物等一覧. <http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html> (閲覧:2021年6月4日)
- ※原則として、管理責任者が明確なサイトや電子ジャーナル、公的機関の資料を対象とします。閲覧した日を記して下さい。

【投稿】

1. 投稿者は会員に限られます。著者が複数の場合、少なくとも1人が会員であることを条件とします。ただし、依頼原稿等、編集委員が必要と認めた場合は、この限りではありません。
2. 他媒体との二重投稿は禁止します。
3. 原稿の受付期間は、ニュースレターやホームページ等で告知します。受付期間内に投稿して下さい。
4. 電子メール添付を原則としますが、デジタル投稿が困難な場合は、手書き原稿の郵送も受け付けます。

【編集・校正】

1. 事実誤認や文意不明瞭な場合は、差し戻して修正を求め、表現を手直しがことがあります。また、編集委員の意見に基づき、訂正や再検討を求める場合があります。
2. 著者校正は原則として初校のみとします。掲載ページ数の変更に関わるような大幅な修正はご遠慮下さい。
3. 郵送での校正を希望される方は、投稿時に切手を貼付した返信用封筒を同封して下さい。
4. 校正期間はお手元への初校到着後概ね1週間以内とします。出張等で急な対応が難しい場合はご相談下さい。

【その他】

1. 原則として原稿は会誌発行後に廃棄します。
2. 著者には無料で電子版の別刷(PDFファイル)を配布します。ご希望の方はご相談下さい。
3. 本誌は将来的にインターネット上での公開を想定しています。掲載記事は本誌への投稿をもってメディア変換等について著作権法上の同意をいただいたとみなします。